

登別漁港の整備促進

■ 現 状

登別漁港は、登別温泉や水族館、テーマパーク等の豊富な観光資源を背後にもち、スケトウダラを主要魚種として、サケ・イカ等の豊富な水産物に恵まれており、胆振管内における沿岸漁業の流通拠点漁港として重要な役割を担っております。

また、全国各地からイカ釣り外来船の利用要請が多い漁港となっており、平成14年に第2種漁港から第3種漁港へ昇格指定され、平成14年度から国の直轄事業として、これまで混雑解消対策や衛生管理の向上を目的とした、新港区の拡張整備等を実施していただいております。

■ 課 題

新港区は平成24年に供用開始されたところですが、利用者からは静穏度を高めるための突堤整備を強く求められております。

旧港区は岸壁をはじめとした施設の老朽化が著しく、老朽化対策を実施するとともに、陸揚げ作業が野天で行われていることから、異物混入防止等の衛生管理強化や、特に厳冬期における作業環境改善について利用者から強く求められております。

また、地震災害などの緊急時に、登別漁港利用者が迅速に安全に避難ができるよう、旧港区における漁港施設の機能保持や、津波到来時に一時的に避難できる場所を確保する必要があります。

■ 要 望 内 容

- 静穏度向上を図るため、新港区の突堤の整備促進
- 衛生管理対策の強化による漁獲物の品質向上や高付加価値化、また、過酷な作業環境の改善を図るため、旧港区の屋根付き岸壁の整備促進
- 災害に強く、安全・安心な漁港とするため、東防波堤の改良、旧港区の岸壁耐震化や人工地盤の整備促進

■ 事 業 効 果

- 水産業の振興
- 観光産業への波及
- 防災機能の強化
- 就労環境の改善
- 外来船の利用増加に伴う地域活性化
- 衛生管理の強化によるブランド力の向上

